

2024（令和6）年度第1回（通算第65回）理事会（通常）議事録
一般財団法人国際法学会

1. 日 時：2024年5月19日（日） 10時00分～12時51分
2. 場 所：名駅プレミアムホール&会議室 307
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目5番27号 大一名駅ビル3階
およびZoomを併用した実施
3. 出席理事：（代表理事）植木俊哉、（理事）新井京、都留康子、濱本正太郎、
森田章夫、森肇志、山田哲也 以上7名、対面参加
- 青木節子、阿部達也、石田淳、大平真嗣、小畑郁、玉田大、寺谷広司、
西谷祐子、西村弓、水島朋則、横溝大、萬歳寛之
以上12名、Zoomにより参加
- 出席監事：佐野寛、真山全 以上2名、Zoomにより参加
- 陪席： 岡田陽平、佐俣紀仁、田中佐代子、二杉健斗（事務補佐）
以上4名、対面参加

4. 議事の内容

1) 報告事項

- 1 富山房インターナショナルとの契約締結に関する件
- 2 日弁連キャリアセミナーに関する件
- 3 エキスパートコメントに関する件
- 4 判例研究委員会の活動に関する件
- 5 研究大会をめぐる諸問題の検討に関するワーキンググループ経過報告に関する件

2) 議決事項

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 2024年度第2回（通算第35回）評議員会（定時）招集に関する件 |
| 第2号議案 | 2023年度事業報告・決算に関する件 |
| 第3号議案 | 2023年度公益目的支出計画実施報告書に関する件 |
| 第4号議案 | 一般財団法人国際法学会の委員会に関する規程の改正に関する件 |
| 第5号議案 | 委員会の委員任命に関する件 |
| 第6号議案 | 2024年度（第127次）研究大会に関する件 |
| 第7号議案 | 2025年度（第128次）・2026年度（第129次）研究大会に関する件 |
| 第8号議案 | 国際法外交雑誌第123巻・124巻の編集状況に関する件 |
| 第9号議案 | 小田滋賞に関する件 |
| 第10号議案 | 2024年度アジアカップ模擬裁判に関する件 |
| 第11号議案 | 東京国際法セミナーに関する件 |
| 第12号議案 | 新入会員の承認に関する件 |
| 第13号議案 | 名誉会員の推薦に関する件 |
| 第14号議案 | Global Network of Societies for International Law に関する件 |
| 第15号議案 | 国際法外交雑誌の印刷部数に関する件 |
| 第16号議案 | その他 |

5. 議事要旨

開催に先立ち、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき定足数が確認され、議決に加わることができない議長を除く 18 名の理事が参加していることから、議決に加わることのできる理事 18 名の過半数（10 名）が出席していることが確認された。定款 29 条 3 項に基づき代表理事が議長となった。議長は、本日の理事会は、Zoom を併用して行う旨を述べ、出席者が一同に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣した。

続けて、前回 2023（令和 5）年度第 4 回（通算第 64 回）理事会（臨時）の議事録の確認が行われた。

1) 報告事項

1 富山房インターナショナルとの契約締結に関する件

新井事務局長より、本報告事項の内容は議決事項の第 15 号議案に関連するため、当該議案の審議の後にこの報告事項を改めて取り扱うことが説明された。

2 日弁連キャリアセミナーに関する件

森田アウトリーチ委員会委員長より、本年度の日弁連キャリアセミナーに関する準備状況が報告された。

3 エキスパートコメントに関する件

阿部エキスパートコメント委員会委員長より、前回理事会（2024 年 2 月開催）以降、合計 5 件（うち 1 件は執筆者の希望による改訂版）のエキスパートコメントが掲載されたことが報告された。

4 判例研究委員会の活動に関する件

玉田判例研究委員会委員長より、資料に基づき、今期委員会の任期満了までに合計 12 本の「判例研究」記事を国際法外交雑誌に掲載できる見込みであることが報告された。また、次期の判例研究委員会では対象となる判例数が増加する可能性もあること、その場合には作業負担を考慮して委員会の増員も検討する余地があるという説明があった。

5 研究大会をめぐる諸問題の検討に関するワーキンググループ経過報告に関する件

新井事務局長より、資料に基づき、「研究大会をめぐる諸問題の検討に関するワーキンググループ」の議論の状況について、同ワーキンググループの座長（深町朋子会員）に代わって報告がなされた。

2) 議決事項

第 1 号議案 2024 年度第 2 回（通算第 35 回）評議員会（定時）招集に関する件

植木代表理事より、資料に基づき、2024 年度第 2 回（通算第 35 回）評議員会（定時）の招集が提案された。

審議の結果、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

2024 年度第 2 回（通算第 35 回）評議員会（定時）を 2024 年 6 月 16 日（日）10 時より Zoom を使用して開催する。

第2号議案 2023年度事業報告・決算に関する件

新井事務局長より、2023年度事業報告書（案）について、西村会計部長より2023年度決算報告書（案）およびその監査報告書（案）の内容について、それぞれ資料に基づき説明がなされた。また、佐野監事および真山監事それぞれから、監査の結果として適正に予算が執行されているとの発言があった。

以上の議事を踏まえ、定款41条1項および2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

2023年度事業報告、2023年度決算報告書を原案の通り承認する。

第3号議案 2023年度公益目的支出計画実施報告書に関する件

新井事務局長より、2023年度公益目的支出計画実施報告書（案）および監査の実施について、資料に基づき説明がなされた。佐野監事および真山監事から、これらの内容が適正であることを認める発言があった。

以上の議事を踏まえ、定款41条1項および2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

2023年度公益目的支出計画実施報告書を原案の通り承認する。

第4号議案 一般財団法人国際法学会の委員会に関する規程の改正に関する件

植木代表理事より、資料に基づき、一般財団法人国際法学会の委員会に関する規程の改正が提案された。本改正は、各委員会の業務負担の実態を考慮して、増員の希望があった委員会（具体的には、ホームページ委員会、研究大会運営委員会、雑誌編集委員会）の定員をそれぞれ2名増員するものである。出席理事より、当該規程改正を通じた増員の必要性について補足的な説明がなされた。

以上の議事を経て、定款41条1項および2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

一般財団法人国際法学会の委員会に関する規程の改正案を原案の通り承認する。

第5号議案 委員会の委員任命に関する件

植木代表理事より、第4号議案で承認された規程改正を受けて、萬歳研究大会運営委員会委員長から新委員の任命について提案がなされたことが紹介された。萬歳研究大会運営委員会委員長からも提案の内容が説明された。

以上の議事を経て、定款41条1項および2項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

研究大会運営委員会委員の任命について、原案の通り承認する。

第6号議案 2024年度（第127次）研究大会に関する件

濱本研究企画委員会委員長より、前回理事会で承認された基本方針に基づき、報告者（個別報告およびパネル報告）公募の結果を反映した2024年度（第127次）研究大会のプログラム案が示された。この際、登壇予定者に必要な合理的な配慮等について、今後、

登壇者および研究大会運営委員会との間で調整を行う予定であることが説明された。

萬歳研究大会運営委員会委員長より、福岡市での研究大会開催に向けた準備状況について報告がなされた。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

2024 年度研究大会のプログラムを原案の通り承認する。

第 7 号議案 2025 年度（第 128 次）・2026 年度（第 129 次）研究大会に関する件

萬歳研究大会運営委員会委員長より、資料に基づき、2025 年度と 2026 年度の研究大会会場について次の趣旨の説明があった。「研究大会をめぐる諸問題の検討に関するワーキンググループ」（座長・山田哲也理事）の答申に基づき、2025 年度、2026 年度の研究大会は、8 月下旬から 9 月上旬（週末も含む）を候補日程として会場準備を進めている。「学会開催方式に関する論点整理のためのワーキンググループ」（座長・深町朋子会員）では、ハイブリッド開催も含めた開催方式が議論されていることもあり、2025 年度および 2026 年度については、現段階では、どのような開催方式でも対応できる会場を対象として、事務局との調整の上で会場選定を進めてきた。

以上の方針に基づき、萬歳研究大会運営委員会委員長より、次の 2 点が提案された。

・2025 年度の研究大会を、2025 年 8 月 24 日（日）から 26 日（火）の日程で、岡山コンベンションセンターを会場として開催する。

・2026 年度研究大会を、2026 年 9 月 3 日（木）から 9 月 5 日（土）の日程で、富山国際会議場を会場として開催する。

それぞれの会場は周辺で懇親会会場も手配できる見込みであること、および会場費用面でも学会の財政上対応可能な見込みであることが説明された。

森田アウトリーチ委員会委員長より、大平理事の協力の下、2025 年度の研究大会日程と重複しないよう 2025 年度東京国際法セミナーの日程を調整予定である旨の発言があった。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

原案通り、2025 年度研究大会を、2025 年 8 月 24 日（日）～26 日（火）に岡山市の「岡山コンベンションセンター」で開催する。2026 年度研究大会は、2026 年 9 月 3 日（木）～9 月 5 日（土）に富山市の「富山国際会議場」で開催する。開催形態については、今後の理事会において引き続き検討を行う。

第 8 号議案 2024 年度事業計画に関する件

新井事務局長より、資料に基づいて、2024 年度事業計画案が提示され、その内容および昨年度からの主要な変更点について説明がなされた。

定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

2024 年度事業計画を原案の通り承認する。

第 9 号議案 国際法外交雑誌第 123 巻・124 巻の編集状況に関する件

森雑誌編集委員会委員長より、資料に基づき、123 巻、124 巻の編集状況と編集計画に

について説明がなされた。あわせて、森雑誌編集委員会委員長より、資料に基づき、国際法外交雑誌の「紹介」記事に対する「応答」、および二次投稿の疑義がある投稿について、それぞれ現状と雑誌編集委員会内での対応状況が報告された。これらの報告に基づき、必要な対応について出席理事で議論が行われた。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

今回の「応答」は、現行の審査規程 4 条「その他の原稿」として扱う。当該「応答」が投稿された場合、国際法外交雑誌への掲載可否は、現行規程に基づき、雑誌編集委員会が判断する。「紹介」への「応答」に関する規程改正の要否および改正案の検討は、次期の雑誌編集委員会にて行う。

第 9 号議案 小田滋賞に関する件

山田国際関係法教育委員会委員長より、資料に基づき、第 11 回小田賞の応募状況および審査結果について報告がなされた。今回は、国際公法 5 編、国際私法 4 編、国際政治・外交史 4 編の計 13 編の応募があったこと、そのうち国際公法 4 編、国際私法 4 編、国際政治・外交史 3 編が予備審査を通過したことが報告された。次いで植木代表理事より、資料に基づき、本審査の経緯が説明され、各賞受賞者について提案がなされた。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

第 11 回小田滋賞の各賞受賞者を原案の通り承認する。

第 10 号議案 2024 年度アジアカップ模擬裁判に関する件

水島国際関係法教育委員会委員長より、2024 年度アジアカップ模擬裁判の準備状況について報告がなされた。前年度同様、東京国際法セミナーの一環として、2024 年 8 月 27 日（火）、28 日（水）の 2 日間で対面開催予定であることが報告された。水島国際関係法教育委員会委員長より、外務省との業務委託契約締結をはじめとする事務的な諸事項を国際関係法教育委員会に一任することについて、理事会の許可を得たいとの提案がなされた。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

2024 年度アジアカップ模擬裁判につき、原案の通り承認する。

第 11 号議案 東京国際法セミナーに関する件

森田アウトリーチ委員会委員長および大平理事より、資料に基づき、前回の理事会での議決事項に基づく東京国際法セミナーの準備状況について報告がなされた。また、西村会計部長から、協賛金募集の状況について説明がなされた。

森田アウトリーチ委員会委員長より、国際法学会会員の同セミナー参加に関連して、①募集要項の作成、②当該募集要項に基づく参加者の選定、の 2 点をアウトリーチ委員会に一任することが提案された。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

東京国際法セミナーにつき、原案の通り承認する。

第 12 議案 新入会員の承認に関する件

新井事務局長より、資料に基づき、8 件の入会申請（一般会員 4 件、学生会員 4 件）について、逝去会員および会員資格の種別変更について、提案がなされた。

審議の結果、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

入会申請者＝8 名（一般会員：4 名、学生会員：4 名）

退会希望＝3 名（一般会員：3 名 2023 年度末退会希望）

逝去会員＝2 名

種別変更会員＝5 名（一般会員→名誉会員 年度末計反映済）

入会申請者・種別変更 理事会承認後会員数

合計 842 名（一般会員 742 名、学生 50 名、名誉 42 名、特別 4 名、終身 1 名、維持会員 3 名）

第 13 号議案 名誉会員の推薦に関する件

植木代表理事より、資料に基づき、昨年 9 月の理事会で承認された「名誉会員の推薦基準および待遇に関する内規」に基づき、以下 3 氏を名誉会員として推薦することが提案された。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

平 覚 会員、北村泰三会員、岡野祐子会員を 2024 年 4 月 1 日より名誉会員とする。

第 14 号議案 Global Network of Societies for International Law に関する件

寺谷国際交流委員会委員長より、Global Network of Societies for International Law（以下 GNSIL）への本学会の参加について、2024 年 3 月に改めて招待を受けたこと、その後のやり取りを経て、先方より、GNSIL の International Bureau にアジア地域の代表の 1 つとして参加してほしい旨の提案があったことが報告された。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（18 名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

Global Network of Societies for International Law の International Bureau に本学会として参加をすることを前提に、先方との連絡調整を行う。

第 15 号議案 国際法外交雑誌の印刷部数に関する件

新井事務局長より、国際法外交雑誌のオンライン公開に関連した有斐閣との事前折衝で、従来の販売状況に鑑みて、各号の引受数を減らしたいという希望があったことが報告され、これに関連して、委託販売分の各号を 530 部から 470 部（60 部減）へと変更することが提案された。

以上の議事を経て、定款 41 条 1 項および 2 項に基づき、議決に加わることのできない議

長を除く、すべての理事（18名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】

国際法外交雑誌の印刷部数につき、原案の通り承認する。

第16号議案 その他

[報告事項]

1 富山房インターナショナルとの契約締結に関する件

新井事務局長より、議決事項の第15号議案の承認を受けて、国際法外交雑誌の印刷部数を削減した内容で、富山房との契約を締結することとなった旨が報告された。契約部数の変更を除けば、契約内容は従来通りであるという説明がなされた。

以上、本日の理事会は、Zoomでの参加者についても即時・双方向性が満たされており、終始異状なく議案の審議が終了したので、12時51分に本理事会を閉会した。

以上